

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (株式会社ミトリ)
 介護事業所名 (三鳳訪問介護ステーション)
 介護保険事業所番号 (2372005088)
 サービス種別 (訪問介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	ロボヘルパー SASUKE

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月22日	1台

(1)介護ロボットの使用状況

- ・利用者の体重のある方の入浴移乗
- ・利用者の褥瘡のひどい方の移乗
- ・利用者の低体重の方の移乗 (筋肉のない方)

(2)介護ロボットの導入効果

- ・移乗の際、女性介護士でも120kgまでの方の移乗が一人でもできる。実際に、80kgの男性利用者を安心して移乗している。
- ・抱き上げ式なので、人の手が強く触れることなく利用者も安心・安全に、また、密着せず距離を保つので、感染症対策としても有効活用できた。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年8月1日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン (補助は受けていない)

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年8月1日
ICT機器の製品名	スマートフォン・PHS (補助は受けていない)

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年8月1日
介護記録ソフトの製品名	カイポケ (補助は受けていない)

④ 従前の介護職員等の人員体制 新設にて、人員は増員しています

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 新設にて、人員は増員しています

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 新設にて、人員は増員しています

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

新設時に導入しており、すでに効率化を図っているので不明

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・利用者の体圧が一点にかからないため、安心して移乗できる
- ・介護者の腰部への負担軽減
- ・一人でも軽い力で移乗介護ができるので、心身的負担軽減

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

利用者および介護者の心身的負担をなくし、より良いコミュニケーションができる。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (みなと医療生活協同組合)
介護事業所名 (護老人保健施設あつたの)
介護保険事業所番号 (2350980005)
サービス種別 (介護老人保健施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	移乗ロボット HugT1-02

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月12日	4

(1) 介護ロボットの使用状況

- ・職員全員に利用法を周知
- ・各フロアに配置し、ベット等からの移乗、入浴介助、排泄解除に使用
- ・導入について施設ニュースにてご家族へ報告

(2) 介護ロボットの導入効果

- ・移乗時の利用者、及び、職員の身体の負担が軽減された
- ・職員の腰痛防止が期待できる
- ・複数で介助が必要であった利用者でも1人介助で移乗でき、排泄介助ができ、業務が効率化できた

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人西春日井福祉会)
介護事業所名 (特別養護老人ホームあいせの里)
介護保険事業所番号 (2375200124)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	FUJI移乗サポートロボット Hug T1 (T1-02)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月31日	2台

(1)介護ロボットの使用状況

- ・排泄介助 おむつ対応の利用者のうち、トイレへの案内が可能な方に使用しています。
- ・入浴介助 着脱介助、おむつ着脱時に使用しています。

(2)介護ロボットの導入効果

主に、職員の介助負担軽減につながっています。おむつの利用者、立位がとれない利用者のトイレ案内時、今までは2人介助で行っていましたが、本ロボット導入により、抱える側の介助が不要になりマンパワー不足の解消につながり、効果は大きいです。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人知多学園)

介護事業所名 (特別養護老人ホーム論地がるてん)

介護保険事業所番号 (239460031)

サービス種別 (地域密着型特別養護老人ホーム)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	J-PASフレアリー

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年2月20日	3台

(1) 介護ロボットの使用状況

3ユニット特養のため各ユニットに1台ずつ配置。当初、移乗介助で職員の負荷が高い方の介助に活用していたが腰痛持ちの職員がかえって腰が痛くなることがあり、日常的な活用ができていない。

(2) 介護ロボットの導入効果

当初職員の負担軽減として導入したが、上記のとおり日常的に活用ができておらず目に見えた効果が得られていない。活用方法を再周知し運用していくことで効果へ繋げていく。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月24日
見守りセンサーの製品名	見守りライフ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/2/14
ICT機器の製品名	iPAD mini

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/2/14
介護記録ソフトの製品名	ケアカルテ

④ 従前の介護職員等の人員体制 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.6名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 常勤介護職員12名、非常勤介護職員5名、常勤換算14.7名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.0名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由 人事異動による

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー：見守りライフによりナースコール＝訪室でなく、ナースコール＝端末・PCで状況確認し必要に応じて訪室、の対応となり、動線の効率化を図っている。
 ICT：iPADにて情報の確認を行い、業務の効率化を図っている。
 介護ソフト：記録の共有が素早く行えるため、人から人へ伝える時間の省力化をしている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

ケアの質の点では、人員・業務の効率化・省力化により、利用者へか関わる時間を増やせるようにしている。導入し数か月のため評価が難しいが、定期的に職員会議で介護ロボット導入による効果を確認していく。機器エラーにより、精神的不安がでているがあくまで職員のサポートのためのロボットであるという認識を持つ必要がある。機器トラブルへの早期対応をしている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

特に職員の少ない夜間帯は職員の身体的負担・精神的負担が大きい。それらをサポートする形で適切に介護ロボットを使用していくことで負担軽減につながる。負担軽減により、職員の離職を防ぎ安定した施設運営につながっていくと考える。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (株式会社ケアセンターうらら)
介護事業所名 (ケアセンターうらら)
介護保険事業所番号 (2373101340)
サービス種別 (地域密着型通所介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移動支援
	②介護ロボットの製品名	マッスルスーツEveryソフト フィットSMサイズ

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月18日	1台

(1)介護ロボットの使用状況

効率的に介護ロボットを使用し、介護職員の業務負担軽減を図る目的から、介護ロボット使用手順書において使用機会、保管管理方法、使用記録方法を定めた。
介護機会としては、車いすやベッドへの移乗介助及び入浴介助時の移乗介助とした。

(2)介護ロボットの導入効果

介助時において、マッスルスーツによるアシストにより介護職員の身体的負担軽減の実感が得られ、一人での移乗が容易となり、作業効率の向上が図られている。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (ハートピース株式会社)
介護事業所名 (ハートピースケア)
介護保険事業所番号 (2374900658)
サービス種別 (訪問介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	Hug T1-02

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月23日	1 台

(1)介護ロボットの使用状況

- 新入職員も含め、職員全員が使用方法を習得し、恒常的に業務に利用している。
- 主に下肢が不自由な利用者様や大柄な男性利用者様に対し、ベッド⇄車いすへの移乗や排せつ介助に使用。

(2)介護ロボットの導入効果

- 大柄な男性利用者様などの移乗介助について、安心・安全に行えるようになり、利用者様・介護職員ともに身体的・精神的な負担が軽減された。
- 職員全てが使用方法を習得し、大柄な男性利用者様への介助に当たれるようになった事で、シフトの調整もしやすくなった。
- 利用者様の離床回数や車いすでお過ごし時間も増え、散歩など外出の機会も出来るようになった。
- 近隣病院からの退院患者様の受入れや新規職員採用の際に移乗支援ロボットを導入したことによる効果がPRでき、これらによる取り組みを評価頂いている。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人 観寿々会)
介護事業所名 (特別養護老人ホーム 洲原ほーむ)
介護保険事業所番号 (2372900060)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	Hug-T01

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月31日	1台

(1)介護ロボットの使用状況

令和5年2月～職員周知期間を3週間設け、その後対象利用者3名選定し3段階に分けて準備段階を設けました。第1段階「導入に対する確認、説明」第2段階「Hugに慣れるための立位訓練」第3段階「Hugを使って移乗ができる」という段階を設けました。選定した3名の利用者が片麻痺、指示動作が入り辛い、拘縮がある等難易度が高く使用を敬遠してしまうことがあった為対象者をまずは立位保持可能な方を対象とし3月下旬より毎日使用しています。作業療法士にも使用方法を共有し、使用に対するアドバイスを頂きリハビリを実践している最中です。

(2)介護ロボットの導入効果

利用者自身から「これは楽だな」という言葉がありました。
職員からもハグを使用する事により今までオムツ使用していた方がトイレ誘導できる可能性があり、自尊心、自立支援の向上が見込めるのではないかという意見が多数出ています。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム東和荘)
 介護保険事業所番号 (2375700180)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	移乗サポートロボット Hug T 1 T1-02

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月25日	2台

(1)介護ロボットの使用状況

「移乗サポートロボット Hug T1 T1-02」を車椅子からトイレに移乗し使用、自己での移乗が困難な方の多いフロアに全台設置。従来では介護者が移乗しており、介護者よりも入所者が大きな方も増えており、移乗時にふらつく、車椅子への移乗が不安定でずり落ちが心配されるケースに、そういった時の活用は非常に有効である。

入所者によって、不快感・拘束感があり、不穏になり落ち着かない行為もあることが予測されたが、試験的な使用のためのデモ機貸出で、数か月使用し、定着もできていたためか、そういった行動もなくスムーズに使用している。下肢筋肉が弱くなっている方にはリハビリテーションを兼ねた、機器を使用した下肢の運動をOTと相談し対応している。

(2)介護ロボットの導入効果

従来の移乗では、介護者及びお入所者にも負担になっていたケースがあり、今回、機器を導入したことにより、そういった負担が少しずつではあるが解消されつつある。介護者の体格や移乗方法によっては、入所者の感じるトイレ移乗に少なからず違いがあったが、機器で行う場合には、安定的な移乗を提供でき、安心感に繋がる。

下肢筋肉の弱い入所者の特性に合わせて、下肢の運動が出来るため、入所者のケアにも貢献している。車椅子の多い棟ならではの、スムーズな移乗対応・ケアが行えることで、処遇向上を確認している。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月24日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月24日
ICT機器の製品名	インカム ティービーアイ KX-Z837

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成17年8月1日
介護記録ソフトの製品名	東経システム「福祉見聞録」

④ 従前の介護職員等の人員体制

理者1名(常勤) 医師3名(非常勤) 生活相談員2名(常勤) 看護職員5.7名(常勤換算) 介護職員33.1名(常勤換算) 管理栄養士2名(常勤) 機能訓練指導員1名(常勤兼務) 介護支援専門員1名(兼務) 事務員2名(常勤) 調理員6.1名(常勤換算) 運転手兼補助員2名(非常勤) ※特養80名分及び短期16名分

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

上記に同じ

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

上記に同じ

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANは、体調不良者の見守りターミナルケアに活用。インカムは従来型の施設であるため、広い施設内での職員間のコミュニケーション等に活用し、人探し、物探しに使用する時間を短縮、短縮した時間を職員の休憩時間や、入所者のケアに充てる。また、ケア中の人探し、物探しは転倒転落のリスクにも繋がるため、転倒転落予防の効果も期待するもの。介護ソフトである福祉見聞録は介護ケア記録・看護ケア記録を管理し、全職員が何時でも確認出来るように設置してある。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有し、ケアに当たるのは困難である。そのためのケア記録を電子化し、情報共有をするシステム作りは、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、情報共有がより密になる。広い施設内をカバーするために、コミュニケーション機器導入することで、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てるもの。介護事故防止の検討の中で、ケア中の転倒転落を予防が必須と判断、インカムの活用で協力要請等で未然に防げれば、事後報告等に不随する時間も短縮できる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有に活用することには有効。電子化での情報共有は、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、今後情報共有がより密になることを期待している。インカムは広い施設内をカバーするための機器として、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てられることを実感している。ケア中の転倒転落予防にも効果を実感し、インカムの活用で協力要請等で未然に防いでいる。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (株式会社いろは)
介護事業所名 (デイサービスいろは)
介護保険事業所番号 (2392100695)
サービス種別 (地域密着型通所介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	マッスルスーツエブリイソフトフィット

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月26日	2台

(1) 介護ロボットの使用状況
立位の取れない利用者の移乗時 (ベッド、車椅子間)、ベットでの着脱介助時に使用している。

(2) 介護ロボットの導入効果
申請時は3名の対象利用者がいたが、現在は1名のみになっている。 最初は装着に時間がかかったが回数をこなし、スムーズに装着することが出来るようになった。 無理な体勢での介助が出来ない為、職員の腰痛負担軽減が実感できている。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (株式会社イト通テクノロジー)
介護事業所名 (ヘルパーステーションりぼっけ)
介護保険事業所番号 (2370304285)
サービス種別 (居宅訪問介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	マッスルスーツEvery

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月15日	2台

(1)介護ロボットの使用状況
排泄、移乗、体位交換に使用中
(2)介護ロボットの導入効果
①職員の腰の負担が軽減された ②腰への負担が軽減されたことにより欠勤する職員が少なくなった

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人フラワー園)
介護事業所名 (特別養護老人ホームフラワー園)
介護保険事業所番号 (2371000205)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	HUG T1-02

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年1月31日	2台

(1) 介護ロボットの使用状況

排泄介助時と入浴介助時等、着脱の介助を行う際の立位介助時を中心に使用している。

(2) 介護ロボットの導入効果

これまで (2名介助等) 職員数によりお待たせしていた方々に対し、お待たせする機会を減らすことに繋がっている。
更に、以前購入したHUGよりも持ちやすい利用者様の体にフィットするため、対象利用者様が5名増加。
使用することにより膝の拘縮予防に繋がりが動きが緩和されている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2018年10月
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2017年8月
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2017年8月
介護記録ソフトの製品名	ケアカルテ

④ 従前の介護職員等の人員体制 2.5対1

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 2.5対1

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 2.5対1

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

紙媒体の記録転記に時間を要していた。
ICT導入により記録業務をスリム化し、利用者様と関わる時間増加に向け、業務改善を行う。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

職員の負担としては、2名介助を行う際に職員の確保ができず、お待たせすることが負担であった。また、介助に人員をとられることにより、利用者様の希望にお応えすることが困難な状況が精神的な負担になっていた。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

今回のHUG購入により、2名介助を1名で介助できることで人員数と気持ちに余裕が持てるようになる。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人一期一会福祉会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム岩倉一期一会荘)
 介護保険事業所番号 (2374700041)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	J-PAS fleairy

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2022/12/27	4台

(1)介護ロボットの使用状況

- ・車椅子からベッドへの移乗介助時
- ・夜間帯の排泄・体位変換介助時
- ・ベッド上での排泄介助時

(2)介護ロボットの導入効果

- ・職員へのアンケートの結果、移乗介助、排泄介助時の身体への負担が軽減されていることがわかった。
- ・着脱に時間がかからず、使用方法もシンプルで覚えるまでに時間がかからないため、業務負担が増えることなく導入できている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の大員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2021/3/19
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2016/4/1 (インカムは2020/4/1)
ICT機器の製品名	ほのぼのTALK (インカム)、iPhone (ナースコール、インカム連動)、iPad・ノートパソコン (ほのぼのNEXT連動)

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2016/4/1
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制 介護職員の1か月常勤換算数 (正・非) 41.4人

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 介護職員の1か月常勤換算数 (正・非) 40.3人

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 介護職員の1か月常勤換算数 (正・非) 40.3人

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーによりモニター及び端末機で利用者の状態を確認することができ、巡回や訪室の回数を軽減。
 端末機の内線機能やインカムによりタイムリーで移動の少ないコミュニケーションを実現。
 介護記録ソフトにより記載内容を端末機等で随時確認でき、複数回、重複している情報の伝達が減少している。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

端末機で情報を一括管理することにより、職員が共通した認識で介護にあたることができ、ムラのない介護の提供ができています。
 またタイムリーな情報を一括で得られることで、移動やコミュニケーションを複数回行うような業務負担の軽減、複数の記録確認の手間を省く事ができています。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

⑦、⑧の各取り組みを端末機で一括に管理することで、これまでよりも効率化を進め、介護職員の身体的・心理的負担を軽減が達成されることで、次なる課題の解決にもつながっていくと考えています。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人 来光会)
介護事業所名 (介護老人福祉施設えもり)
介護保険事業所番号 (2372204921)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	移乗用ロボット Hug T1-02

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年1月23日	2台

(1)介護ロボットの使用状況

主にご利用者のベッドから車いす、車いすからトイレ便座への移乗などで利用。
小柄な女性スタッフも対応できる。

(2)介護ロボットの導入効果

- ・ゆっくりと上下動できるため、ご利用者の腰部背部にも負担がかからない。
- ・ご利用者のADLを活かした個別ケアに利用するなど利用方法が多様にある。
- ・ご利用者の廃用症候群の減少、排泄機能や移乗能力の維持向上に向けての気力につながっている。
- ・職員の精神的、身体的負担の軽減となっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和2年3月27日
見守りセンサーの製品名	見守り支援システム「眠りスキャン」

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年1月7日
ICT機器の製品名	NDソフト電子カルテ、アイパッド

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年1月31日
介護記録ソフトの製品名	NDソフト ほのぼの

④ 従前の介護職員等の人員体制	1ユニット常勤換算5.5名
-----------------	---------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	1ユニット常勤換算4.0名
--	---------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	1ユニット常勤換算4.3名
--------------------------	---------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	移乗の頻度の影響や、廃用症候群などのリスク回避するためご本人の筋力を利用した介護も合わせて実施。その結果、ロボット導入の効果は明らかにみられるが、想定した数値をわずかに上回ったとみられる。
------------------	--

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・眠りスキャン導入後、夜勤者の巡視業務の時間が短縮された。また、電子カルテの導入により、ご利用者の情報をタイムリーに他職種が共有できるようになった。申し送り時間も電子カルテのデータ共有により短縮された。通所事業所においては、ご利用者家族への連絡帳作成業務に携わる職員数の軽減、作成時間の削減効果がみられた。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・眠りスキャンの導入により、ユニット内に臥床しているご利用者へ最低限の目視による安否確認が可能になり、ユニット内において見守り職員数の軽減につながり、休憩時間の確保へ余剰な人員の配置が不要となり、人員効率が上がった。また、電子カルテの使用方法の教育を進め、階層を移動する申し送り事項や確認事項が減り、身体的な業務負担、業務時間の軽減につながった。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・業務の効率化により、ご利用者とのコミュニケーションなどにサービスを振ることができるようになる。また、多様な移乗の状況において、上下動の動き始め、動き終わりの最も力が必要な場面でゆっくりと移動できご利用者スタッフ双方において負担の少ない介護が多く提供できる。使用になれることにより、サービスの質の向上及び身体的な負担が減少する。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会福祉法人 華陽会)
介護事業所名 (サービスネットワーク南陽)
介護保険事業所番号 (2371100153)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	移乗サポートロボット HugT1-02

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和4年12月26日	3台

(1)介護ロボットの使用状況
トイレでの便座、車いす間の移乗、立位保持、座位保持 居室でのベッド、車いす間の移乗 脱衣場でのシャワーキャリー、車いす間の移乗、立位保持
(2)介護ロボットの導入効果
排泄の場面で移乗や立位保持だけでなく、座位姿勢の保持にも使用しプライベート空間の確保ができ利用者の尊厳の確保にもつながっている。 移乗場面においても、職員の無理な抱え上げがなくなったことで職員の腰痛リスクの減少だけでなく、利用者の内出血など外傷の軽減につながっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和1年10月9日
見守りセンサーの製品名	見守りケアシステムM2

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	平成30年10月1日
ICT機器の製品名	Microsoft Surface

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成30年10月1日
介護記録ソフトの製品名	Blue Ocean

④ 従前の介護職員等の人員体制 32.6名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 34名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 34名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーM2を使用することで、以前の離床センサーのような誤作動がなく効率的な訪室につながっている。また、タブレットを使用することで、リアルタイムに情報の入力及び確認を行え申し送り時間の短縮、介護記録ソフトの活用で転記作業が無くなり要していた人員（時間）の削減につながっている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

見守りセンサーM2の導入により、入居者の行動把握がしやすくなり、転倒・転落事故の減少につながることで職員の心理的な不安や負担の軽減につながっている。また、利用者の行動把握がしやすくなったことで、ヒヤリハットや事故の分析に注力できるようになった。記録の転機作業による超過勤務時間の削減により、職員の負担の軽減及び直接介助時間の確保につながっている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

効率化によって得られる余剰時間の活用、レクリエーションや機能訓練時間の充実などをいかに図っていくか。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (医療法人開生会)
 介護事業所名 (かいせいデイサービス)
 介護保険事業所番号 (2371001856)
 サービス種別 (通所介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	移乗介護ロボット

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和5年3月3日	1台

(1) 介護ロボットの使用状況

脳梗塞による障害で麻痺が有る上に、体重が重い対象者に対して、入浴の際の脱衣時・シャワーチェアへの移乗・便座への移動、排泄後の清拭・ベッド臥床への移乗など、1日を通して移乗介助の割合が高い為、Hug導入により、職員の身体的負担の軽減が大幅にできている。また、これまで、腰痛が有り、抱え込み介助ができなかった職員でも介助に携わることができるようになった。また、対象者におかれても身体的な負担（抱え込みの際の締め付け等）がなく、非常に良好である。

(2) 介護ロボットの導入効果

これまで 体重の重い利用者様の移乗介助には、前面より抱え込みのスタッフが1名、左右に介助スタッフ2名の計3名の介入を要し、抱え込みスタッフについては、対応できるものが1名しかおらず、唯一の1名に腰部の不安が生じたことで、慌てて導入した次第である。効果は絶大であり、職員の身体的・心理的負担の軽減、人員の削減、介助時間の短縮など、多くの利点を得られる形となっている。また、新規で全介助の利用希望があっても対応が難しく、なかなか受けられないという現実もあった。今後は、新規全介助の受け入れも可能となり、要介助者と介助者の両者にとって、明るい現場となり期待が大いに持てる。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (社会医療法人宏潤会)
介護事業所名 (大同老人保健施設)
介護保険事業所番号 (2351280009)
サービス種別 (介護保険施設)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	マッスルスーツEvery

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年3月29日	6

(1) 介護ロボットの使用状況

- ・寝浴による入浴介助時
- ・シーツ交換時
- ・夜間帯における体位交換・オムツ交換時
- ・利用者のトイレや車椅子への移乗時
- ・シーツ交換後など重い物の運搬時

(2) 介護ロボットの導入効果

- ・介護職員が入所者の移乗動作やオムツ交換・体位変換・入浴介助時の移乗や立位保持、洗身等の中腰での業務における腰部への負担軽減に繋がっている。ロボット導入により、職員の腰痛予防に期待することができる
- ・今後は利用者への介助時の負担軽減にも期待できる

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年3月29日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023年3月29日
ICT機器の製品名	デジタルインカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2019年12月
介護記録ソフトの製品名	寿システム

④ 従前の介護職員等の人員体制

看護職員13名 介護職員26.8名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

36名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

38名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入計画策定時より職員数は減少しているが、現在の入所者の状況を考慮すると38名の職員数の人員配置が必要である

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより不要な訪室を避け、タイムリー且つ必要な場合にのみ職員が対応している。
- ・「定時巡視」から「適宜巡視」へ変えていき、入所者の状況に合わせた巡視を行っている。
- ・眠りSCANのモニターを見ながら介護記録を入力することにより安全な見守りをしている。
- ・インカムを使用し、職員間の連絡をスムーズに行い、入所者への迅速な対応に繋げている。
- ・インカムを使用し、電話連絡による無駄な動きの削減に繋げている
- ・利用者の移乗や変換時にマッスルスーツを使用し職員の腰部負担軽減に繋げている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフステーション以外の場所からもスマートフォンにてリアルタイムで確認することで入所者の状況を把握し、転倒転落予防に繋げる
- ・スタッフステーションにいる間もPCにてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、空いた時間に電子カルテ入力確保に繋げる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフステーション以外の場所からもスマートフォンにてリアルタイムで確認することで入所者の状況を把握し、転倒転落予防に繋げる
- ・スタッフステーションにいる間もPCにてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、空いた時間に電子カルテ入力確保に繋げる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる
- ・マッスルスーツ使用し利用者の移乗や重荷など運搬することで職員の腰部負担軽減に繋げる

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
介護事業所名 (リハビリ・ショートねもころ)
介護保険事業所番号 (2370601334)
サービス種別 (短期入所生活介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	株式会社FUJI 移乗サポートロボット Hug T1 (T1-02)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
2023年3月7日	1台

(1)介護ロボットの使用状況

(使用対象者の状態・使用の必要性等)
立位保持が少し不安定または困難な利用者に対し、車いすからリビング内のいすへの移乗時や施設内（主にリビング～トイレ間、リビング～入浴時の更衣室間など）の移動で使用している。

(2)介護ロボットの導入効果

- 【利用者に対する効果】
- ・立位時の介助をこれまで職員2名体制で行っていたものが、機器による補助のもと職員1名体制でできるようになった。
- 【職員に対する効果】
- ・1名体制での移乗介助ができるようになったことにより、もう1名の職員を介助時間は他業務へ従事されられることができるようになり、仕事の効率化に寄与した。
 - ・使用中の様子をビデオで撮影、社内で共有したところ、他県事業所でも同一機器を導入したい動きにつながり、一時的な貸し出しや他事業所職員を対象とした機器の使用説明を兼ねた研修会が開催された。

介護ロボット導入効果報告書 (その1)

法人名 (一般社団法人 あるふぁ)
介護事業所名 (へるばーおふいす・ねいろ)
介護保険事業所番号 (2372004040)
サービス種別 (訪問介護)

導入した介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	移乗介護
	②介護ロボットの製品名	マッスルスーツ

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

導入年月日	導入台数
令和 5年 1月	1 台

(1)介護ロボットの使用状況
使用頻度は多くありません

(2)介護ロボットの導入効果
使用時は体にかかる負担の軽減できています